

第5次津島市総合計画(案) 将来都市像・まちづくりの目標

1章 将来都市像

まちの未来は、どの世代にとってもそれぞれのライフステージに応じて望む多様な暮らしの先にあります。

まちの未来をつなぐためには、このまちに住んでいる人、働きに来ている人、まちの魅力を感じて活動している人など、何らかの形でこのまちにかかわる皆さんの力が不可欠です。

こうした多様な人々がかかわり、一人ひとりが主人公となってまちづくりを進めることで、まちにかかわるすべての人の思いが形となり、共感できるまちをめざします。まちにかかわる人の思いが、そこに暮らす人の望む多様な暮らしの実現につながります。

住んでいることを自慢できるまちを一緒に育てていきましょう。そして10年後、住んでよかったと実感することができるまちを未来につないでいきましょう。

～未来につなぐ～
住んでよかったまち 津島

第2章 まちづくりの目標

将来都市像「～未来につなぐ～住んでよかったまち 津島」を実現するために、次に3つのまちづくりの目標を掲げます。

1 子育てしやすいまち

妊娠期から子育て期にわたる途切れない総合的な支援と、コミュニティやボランティア・NPOなどによる様々な形の支え合いによって、安心して子どもを産み育てることができるようにします。

また、家庭・地域・学校が連携して子どもの豊かな体験・学びの機会を充実し「生きる力」を育むとともに、地域の歴史・文化に対する愛着と誇りを育む教育や、これからの時代に求められる資質・能力を培う特色のある教育を充実することにより、次代を担う人材が輩出される環境を形成します。

こうした安心して子育てできる環境、子どもの教育環境を充実させることで、子育てしやすいまちをめざします。

2 若い人が魅力を感じるまち

地域企業の活性化の支援や企業誘致により、安定した雇用の場を確保するとともに、空き家等を活用したスペースの提供、経営相談支援の充実などにより起業・創業しやすい環境を整備し、多様な働き方が実現できるようにします。

また、公共交通や道路ネットワークを強化し、周辺都市との交通の利便性を高めるとともに、都市機能や生活サービス機能を集約化した拠点を整備し、田園風景が残るゆとりある環境の中で、快適かつ便利に住むことができる環境を実現します。

こうした市内の雇用機会の拡大と周辺都市への通勤の利便性を高めるとともに、快適な居住環境を実現することでまちの活力を高め、若い人が魅力を感じるまちをめざします。

3 安心して暮らせるまち

充実した保健・医療・福祉サービスと支え合い・助け合いの仕組みにより、高齢者や障がいのある人をはじめ市民の誰もが、安心して健やかな生活を送ることができるようにします。

また、防災・減災対策の充実と自助・公助の取組によって、災害が発生しても、被害を最小限にとどめ、市民の生命が確実に守られるようにします。

こうした安心できる環境、安全な環境を実現し、いつまでも安心して暮らせるまちをめざします。